

第3章 研究報告

1 研究体系（平成29年度）

区分	No.	研究課題	研究年度	県施策項目	共同研究機関	担当部
健康危機管理時の対応力向上に資する調査研究の推進	1	生食用カキのノロウイルス不活化に関する研究	29-31	食の安全・安心の確保	水産技術センター	保健科学部
	2	機能性炭化物による食品中の重金属低減化のための技術開発	29			衛生科学部
	3	医療機関との連携による薬剤耐性菌の解析	28-29	地域の保健医療体制の確立		保健科学部
	4	岩手県における小児呼吸器ウイルスの疫学に関する研究	28-29			
行政課題・地域課題解決に向けた調査研究の推進	5	ウイルス媒介性節足動物（ヒトスジシマカ）の生息に関する研究	29-30	地球温暖化対策の推進	岩手県立大学	地球科学部
	6	WET手法を用いた水環境調査のケーススタディ	28-29	多様で豊かな環境の保全	国立環境研究所ほか	環境科学部
	7	微小粒子状物質の発生源解明に関する研究	29-30		国立環境研究所ほか	地球科学部
	8	酸性雨による環境影響の総合的評価	29-30		全国環境研協議会酸性雨広域大気汚染調査研究部会	
	9	新指標による岩手県内光化学オキシダント濃度の長期的評価	28-29			
高度な分析機器を用いた新たな検査・分析法の開発	10	麻痺性貝毒に関する機器分析法の研究	29-31	食の安全・安心の確保	水産技術センター	衛生科学部
	11	下痢性貝毒に関する超臨界抽出法の妥当性に関する研究	28-29			
	12	糞便からの腸管出血性大腸菌(EHEC)検出法の検討	28-30			検査部
	13	有機フッ素化合物の環境動態及び生物蓄積に関する研究	29-31	多様で豊かな環境の保全	国立環境研究所、韓国全南大学校、北九州市立大学、(地独)北海道総合研究機構環境科学研究センター、東京都健康安全研究センター、大阪府立公衆衛生研究所	環境科学部
	14	PPCPs (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質環境実態調査	29-31			
15	化審法関連物質の排出源及び動態の解明	28-30	国立環境研究所、北九州市立大学、埼玉県環境科学国際センター			

区 分	No.	研究課題	研究 年度	県施策 項 目	共同研究機関	担当部
本県の豊かな自然環境の保全に資する調査研究の推進	16	重要な絶滅危惧植物を存続させるための技術開発に関する研究	29-33	多様で豊かな環境の保全	環境省ほか	地球科学部
	17	イヌワシの生息数維持に向けた保全生態学的研究	28-32		東北鳥類研究所、京都大学野生動物研究センター、猛禽類保護ネットワーク、環境省猛禽類保護センター	
	18	ツキノワグマの個体群動態と将来予測手法の開発ならびに人里への出没メカニズムの解明	29-32		岩手大学、(合)東北野生動物保護管理センター	
	19	五葉山地域に生息するニホンジカの個体数推定	29-31		岩手大学	
計	19テーマ					